

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校)

都道府県名	栃木県
-------	-----

I 学校の概要 (平成15年4月現在)

学校名	栃木県栃木市立栃木南中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	4	0	12	25
生徒数	117	123	122	0	362	

II 研究の概要

1. 研究主題

「確かな学力」が身に付く個に応じた指導法・指導体制の研究
 ——自ら学ぶ意欲を育てる「指導と評価の一体化」を目指して——

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

・全学年・全教科
 全職員が課題意識を持ち、創意工夫のある授業実践を積み上げる中から、生徒の学力向上に資する授業の在り方を、指導と評価の一体化という観点から明らかにするため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度

○テーマ
 「確かな学力」が身に付く個に応じた指導法・指導体制の研究
 ——自ら学ぶ意欲を育てる「指導と評価の一体化」を目指して——

○研究の見通し(研究の仮説)

(1) 発展的な学習や補充的な学習などの教材開発、指導方法・指導体制の工夫改善、生徒の学力を生かした指導の改善等、生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を徹底することで、生徒に確かな学力が身に付くであろう。

(2) 各教科の学習において、生徒が課題解決の達成感や自己成長の成就感を味わったり、その学習の意義や有用性を理解したりする場を設けることで、生徒の学習意欲を喚起・持続・向上させることができ、主体的な学習態度の育成が図れるであろう。

(3) 生徒自身に自らの学習を振り返る場を継続的に設け、教師が適切な指導助言を与えることで、生徒自身の自己評価能力が向上するとともに自己理解が深まり、解決すべき自己の課題に向かって自主的に学習に取り組む態度の育成が図れるであろう。

(4) 家庭と連携し、規則正しい生活習慣・学習習慣・できることは自分でやらせるなどのしつけを生徒に身に付けさせることで、自己コントロールしながら学習に取り組む態度の育成が図れるであろう。

○研究の内容・方法

(1) 必修教科研究部会

- ・年間指導計画と評価規準表の作成及び修正(両者一体化)
- ・自己評価を取り入れた生徒の学習意欲を高める方法
- ・T・T指導及び少人数指導による生徒の個に応じた指導方法の研究
 数学科・英語科におけるT・T指導や少人数指導の実施
 特技を持つ教員の他教科への協力 学担と教担の連携強化

(2) 選択教科研究部会

- ・生徒の多様性や必要性に応えた多様な教科・コースの設定
- ・年間指導計画と評価規準表の作成及び修正(両者一体化)
- ・選択教科におけるガイダンス機能の充実(体験授業の導入)
- ・選択教科に対する意識調査結果の活用

(3) 調査啓発研究部会

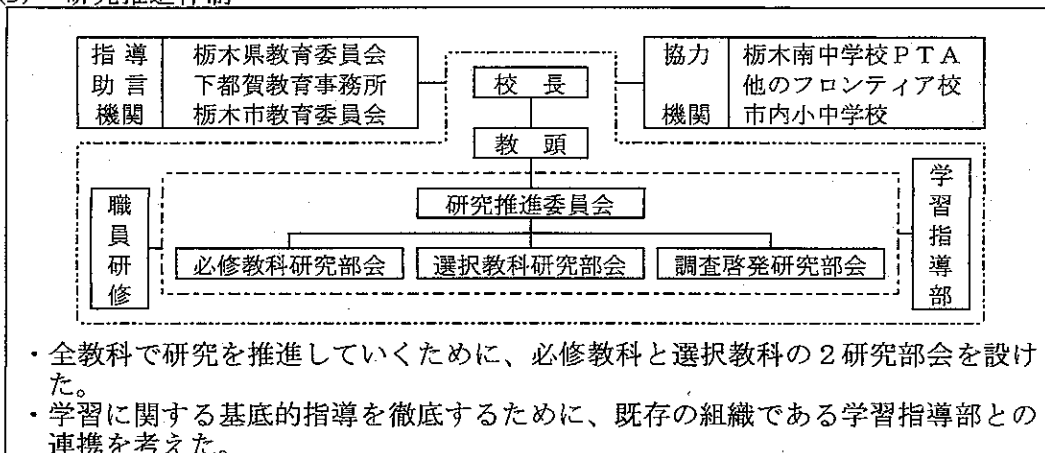
- ・生徒の学習に関するアンケート調査の実施と結果の活用
- ・保護者の意識調査と啓発活動

(4) 学習指導部

- ・生徒の基本的な学習態度を育成するための手立ての研究

平成 16 年度	<p>○テーマ 「確かな学力」が身に付く個に応じた指導法・指導体制の研究 ——自ら学ぶ意欲を育てる「指導と評価の一体化」を目指して——</p> <p>○研究の見通し 平成15年度に同じ</p> <p>○研究の内容・方法</p> <p>(1) 教科指導研究部会 ・年間指導計画と評価規準表の継続修正 ・効果的なT、T指導や少人数指導の指導体制・方法の研究 ・効果的な自己評価活動による生徒の学ぶ意欲を高める手立ての研究 ・授業評価やテストの誤答分析による指導方法の改善</p> <p>(2) 調査啓発研究部会 ・生徒の学習に関するアンケート調査の実施と結果の活用 ・保護者の意識調査と啓発活動</p> <p>(3) 学習環境研究部会 ・確かな学力を身に付けるための学習環境の整備及び各分掌間の連携</p> <p>(4) 学習指導部 ・生徒の基本的な学習態度を育成するための手立ての研究 特に、生徒の自治的な活動を通しての実践</p>
----------------	---

3) 研究推進体制



III 平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究の成果

- ・全教科で研究の推進に取り組んだことにより、全職員が授業改善に努め、より良い授業を創造しようとする雰囲気が高まってきている。
- ・評価規準表と一体化した年間指導計画を作成・活用することで、毎時間の目標や内容が明確な授業を実践することができるようになった。その結果、生徒も「勉強すれば良い成績がとれる」「勉強すれば分からないことでも自分で答えを見つけられる」等、自分を肯定的にとらえようとする生徒が増加している。
- ・必修教科における自己評価の活用や選択教科における体験授業の実施などにより、目的意識を持って授業に取り組める生徒が増加している。
- ・各研究部会の研究を通して、「確かな学力」を身に付けさせるための指導体制及び指導方法の在り方について、本校なりの輪郭が見えてきた。

2. 今後の課題

- ・生徒の実態に即した教材を開発し、教師だけでなく生徒が自由に使える環境を整備していく。
- ・年間指導計画と評価規準表を毎日の授業に生かし、「確かな学力」が身に付く効果的な指導体制・方法の具体的研究を進める。
- ・基本的な学習態度を身に付けさせたり、学習したことの達成感や有用感を味わえるような場を意図的・計画的に設ける。
- ・「確かな学力」育成の基盤となる基本的生活習慣や学習習慣を身に付けさせるため保護者と連携を強化する。
- ・確かな学力を身に付けるための授業実践のために、各校務分掌を活性化する等既存組織との有機的関連を図る。

IV 学力把握のための学校としての取組

- ・学習に関する調査
本校生徒の学習に関する意識及び実態調査を通し、生徒の実態を把握するとともに、その結果を生かした教科経営や学級経営を行う。
調査内容は、教育課程実施状況調査の質問項目に準ずる。
7月・12月（3月にも実施予定）
- ・選択教科に対する意識調査
生徒の実態に応じた適切な選択教科の指導体制を考えるとともに、各担当者の指導に生かす。
調査内容は、選択教科の学習内容について「分かるか・楽しいか」等4項目を開設教科ごとに調査。
7月・12月（3月にも実施予定）
- ・定期テスト誤答分析
定期テストの誤答分析を通し、生徒の実態を把握しその後の指導に生かすとともに、教員自身の指導を見直す材料とする。
指導に関わり中心となる問題について、正誤の状況を調査。
各学期の中間・期末テスト 計5回実施
- ・学習訓練強調週間
生徒の基本的な学習態度を学期始めに当たり身に付けさせる。
「チャーム着席・忘れ物をしない」等の3項目を各教科担当者が授業開始時に確認。各学期始めの1週間（4月・9月・1月）
- ・月別重点目標
学習に関する月別目標を生徒に自覚させ、基本的な学習態度を身に付けさせる。
「チャーム着席・発表態度・家庭学習」等の3項目を、月半ばと月末の2回自己評価する。 4月・9月・1月
- ・保護者の意識調査
家庭における生徒や保護者の学習の関する実態を把握するとともに、本校研究についての意見を聞く。
生徒の学習に関する実態及び変容、研究に対する意見。 3月

V フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・下都賀地区学力向上推進研修会の開催
平成16年1月29日 栃木市立栃木南中学校
下都賀地区普及域の小・中学校教員（普及域外の参加希望校の教員）
本校研究の中間発表を行い、参観者に成果を普及するとともに、今後の研究について協議
- ・学習指導主任研修会での情報交換
平成15年10月27日 栃木県総合教育センター 県内学習指導主任
学習指導に関わる課題について、学習指導主任の各中学校における取組について情報交換を行い、各校の実践の参考にする。
- ・栃木市教育研究発表会での研究成果発表
平成16年2月12日 栃木市皆川町公民館 栃木市内小中学校教員代表者
本校研究について、特に調査啓発研究部会の実施したアンケート結果をもとに研究概要を発表。

◇ 次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】	<input checked="" type="checkbox"/> 15年度からの新規校	<input type="checkbox"/> 14年度からの継続校		
【学校規模】	<input type="checkbox"/> 3学級以下	<input type="checkbox"/> 4～6学級		
	<input type="checkbox"/> 7～9学級	<input checked="" type="checkbox"/> 10～12学級		
	<input type="checkbox"/> 13～15学級	<input type="checkbox"/> 16学級以上		
【指導体制】	<input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導	<input checked="" type="checkbox"/> T、Tによる指導		
	<input type="checkbox"/> その他			
【研究教科】	<input checked="" type="checkbox"/> 国語	<input checked="" type="checkbox"/> 社会	<input checked="" type="checkbox"/> 数学	<input checked="" type="checkbox"/> 理科
	<input checked="" type="checkbox"/> 外国語	<input checked="" type="checkbox"/> 音楽	<input checked="" type="checkbox"/> 美術	<input checked="" type="checkbox"/> 技術・家庭
	<input checked="" type="checkbox"/> 保健体育	<input type="checkbox"/> その他		
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無		